

加茂市

議会だより



第152号

平成19年1月31日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

gikajimu@city.kamo.niigata.jp

雪化粧をした冬鳥越スキーガーデン

〈主な内容〉

- 一般会計補正予算を可決… (2)
- 委員会の審査から… (3)
- 11人が一般質問に登壇… (4)
- 平成18年の議会… (7)
- 議決状況一覧表… (8)

新春を迎え、市議会を代表して、市民の皆様にご挨拶を申し上げます。また旧年中は、本市議会に對しまして、格別なるご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、平成の大合併に伴い、県内の市町村数は三十五にまで激減いたしました。また四月には、本州の日本海側初の政令指定都市・新潟が誕生いたします。

本年も議会の活性化を図り、開かれた議会をめざしてまいりたいと考えておりますので、何とぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



加茂市議会議長
関 龍雄

年頭にあって

一般会計補正予算を可決

十二月定例市議会は、七日から二十二日まで会期十六日間で開かれました。この定例会では、各会計補正予算、条例の改正、人事など市長提出議案十九件を慎重に審議の結果、すべて原案可決、認定、同意しました。

また、議員提出の意見書一件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

なお、市長提出の新潟県後期高齢者医療広域連合の設置については、撤回を承認しました。

この定例会に、市長から提出された議案の主な内容は、次のとおりです。

条例改正

ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例及び重度心身障害者医療費助成に関する条例は、健康保険法の改正に伴い、助成の範囲に「入院時生活療養費」を加えるものです。

消防団の設置等に関する条例は、消防組織法の改正により、条番号の移動が生じたため、所要の改正をするものです。

12月定例会

ひとり親家庭の医療費助成 条例の改正などを可決

補正予算

一般会計は三千五百八十一万六千

円を増額し、予算の総額を百三十四億五千八百八十一万四千円とするものです。歳出の主なもの、地方バス路線運行維持対策費一千六百七十六万四千円、

重度心身障害者医療費助成事業費六百二十八万円、私立認可保育所費三百六十九万六千円などを増額し、職員人件費五百五十万五千円を減額するものです。

国民健康保険特別会計は、総額九百三十三万二千円を増額し、予算の総額を三十億四千九百九十六万一千円とするものです。

歳出の内容は、老人保健拠出金七百三十七万九千円などの増額です。

下水道事業特別会計は、職員人件費一万二千元を増額し、予

算の総額を十九億九千五百七十七万円とするものです。

介護保険特別会計は、職員人件費三万一千円を増額し、予算の総額を十九億九千七百七十七万円とするものです。

在宅介護サービス事業特別会計は、職員人件費二万四千円を増額し、予算の総額を四億五千八百三十一万円とするものです。

監査委員に同意

人事

定例会初日の本会議で、十二月十六日

に任期満了となる監査委員に、坂中春信氏（青海町、61歳）の選任について同意しました。

また、十二月三十一日に任期

12月定例会日程

7日	本会議
11日	本会議
12日	本会議
13日	本会議
14日	本会議
15日	本会議
18日	本会議
19日	本会議
20日	本会議
21日	本会議
22日	本会議

平成17年度 会計別決算状況 (単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	
一般会計	12,388,755	12,112,293	276,462	81,785	194,677	
特別会計	国民健康保険	2,743,645	2,813,732	△ 70,087	-	△ 70,087
	老人保健	3,336,829	3,359,593	△ 22,764	-	△ 22,764
	宅地造成事業	112,178	576	111,602	-	111,602
	下水道事業	1,847,703	1,843,076	4,627	-	4,627
	介護保険	1,875,033	1,859,064	15,969	-	15,969
	在宅介護サービス事業	485,809	444,302	41,507	-	41,507

決算

一般会計と各特別会計の平成17年度

平成17年度決算を認定

満了となる公平委員会委員に、田邊敏夫氏（上町、67歳）の選任について、十二月二十七日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、渡邊 晃氏（北潟、69歳）の選任について同意しました。

決算について、各特別委員長の報告の後、一般会計決算については、起立採決の結果、賛成多数で認定しました。また、各特別会計の決算は、いずれも全会一致で認定しました。

※各会計別の決算状況は、別表のとおりです。

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案及び請願は、十二月十三日から十五日の間及び二十一日に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案のうち一件は撤回を承認すべきものとしたほかは、すべて原案可決、請願は採択すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

十二月十三日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案三件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

十二月十四日及び二十一日に委員会を開催し、一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算など付託された議案六件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

議員表彰

総務大臣から永年市議会議員として感謝状を受けられた、今井詔一議員の感謝状の受賞報告が、定例会初日の開議に先立って行われました。



感謝状を受けた今井議員

総務文教常任委員会

十二月十五日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案二件について、それ

ぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会

一般会計と各特別会計の平成十七年度決算については、三つの決算審査特別委員会を設置し十二月十八日から二十日の間に各特別委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

一般会計決算は、決算審査第一及び第二特別委員会では、全会一致で認定すべきものと決定しましたが、決算審査第三特別委員会では、討論の後、採決の

結果、賛成少数で不認定とすべきものと決定しました。また、各特別会計決算は、いずれも全会一致で認定すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会の構成

※議会選出監査委員、議長を除く。

◎委員長 ○副委員長

◎小野吉太郎 ○広野 豊作

◎高井 保 安中 弘

樋口 博務 大桃 一明

・一般会計歳入及び歳出のうち

所管の部分

◎高橋 禧雄 ○森山 一理

◎高橋 禧雄 ○森山 一理



少子化に歯止めを 羽生 六男

安中 利男 大関 勝正
樋口 浩二
・一般会計歳出のうち所管の部分

・宅地造成事業特別会計
・下水道事業特別会計
決算審査第三特別委員会

◎佐野正三良 ○田沢 弘一

山田 義栄 中野 元栄

茂岡明与司 安武 秀敏

星野 昭吾 今井 詔一

・一般会計歳出のうち所管の部分

・国民健康保険特別会計

・老人保健特別会計

・介護保険特別会計

・在宅介護サービス事業特別会計

計

1 月会 一月二十二日臨時市議会が開かれ、市長提出の議案四件を原案可決しました。そのうち上水道新設工事分担金徴収条例の一部改正は、中大谷地区及び上大谷地区に上水道の新設工事を実施するに当たり、工事費に充てるため、当該地区を分担金の徴収地区にしたいというものです。



西加茂地域の雨水対策について

市民クラブ 高井 保 議員

質問 ① 西加茂地域の場、雨水による水災害等には十分な安心対策がなされているとは思われない。稲荷面横線に設置してある流水溝に多く流入できるような工事をしていたが、効果は薄かったように思っている。次の計画があるように聞いているがどうか。

② 加茂市における子供たちの教育について、どのように考えているか。

③ 市長は今までの十二年をどう思い、どう考え、これからの四年の加茂市をどのように考えて、どの方向を目指すのか聞きたい。

市政の内容を聞く

一般質問

十二月定例会では初

日から十一人の議員が

一般質問を行い市政

全般について所見や

執行状況を問いただ

しました。その要点

をお知らせします。



12月定例会本会議

答弁 ① 今年度においては、新たに新栄町地内において、都市下水路と稲荷面横線の水路を結ぶ縦線の大動脈である重要雨水幹線として、排水路を新設する大工事を計画している。これにより道路の冠水については大きな効果が発揮されると思う。

② 現在加茂市では、押しなべてすばらしい教育が行われ、すばらしい児童・生徒が育っている。

小池市長十二年間(三期)の政治姿勢について

日本共産党 大桃一明 議員

質問 ① 平成十八年度の予算概要で、西小学校問題では念頭に置き、知的障害者保護施設については検討するとし、いまだに建設の見通しも計画も示していない。ここまで来ると、公約違反で市長の政治姿勢が問われている。市長の考えを問う。

また、広報かもの不定期発行についても問う。

② 除雪は、市民生活を守るためである。市民の生活基盤を守ることは、加茂市の責務である。知恵を出し合って今まで以上に有効な排雪計画を求める。

③ 除雪は、市民生活を守るためである。市民の生活基盤を守ることは、加茂市の責務である。知恵を出し合って今まで以上に有効な排雪計画を求める。

答弁 ① 加茂西小学校については、市民の中に石川小学校へ

産科医不在地域の妊産婦助成制度について

市民クラブ 安武秀敏 議員

質問 ① 加茂病院の産科再開について、市長はどのように努力され、進捗しているのか。

② 総合周産期母子医療センターを中心としたネットワークの整備で、加茂市の場合はこの病院に行けばよいのか。

③ 生まれてからの支援事業は

幾つかあるが、妊娠期間中、加茂市独自でも妊婦に対する支援

の統合論が強いのであるが、私は西小学校は建設するという考えを堅持している。また、学校や保育園は閉鎖しないというこ

とは、私の公約でもある。財政的に可能な時期が来たら実施すべきと考えている。知的障害者支援施設については、市民の要望の高い第三平成園の建設後とせざるを得ないと考えている。

広報かものについては、内容が大事だと思っている。

② 除雪対策については、今年も一生懸命やっていきたいと思う。除雪対策についての最近の一番の問題は、政府が公共事業費等を減らし、さらに地方交付税を法外に減らして、地方自治体が行う建設事業を大幅に減らすこととした結果、建設業の企業の体力が弱くなってきて、除雪機械を購入、維持することが相当困難になってきていることである。

詳しくは会議録で

十二月定例会の会議録は、二月下旬に発行予定です。

議会図書室、図書館、勤労青年ホーム、老人福祉センター、各コミュニティセンター、新潟経営大学図書館でござんください。

なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。

また、視察報告は、市議会ホームページでもごらんになります。

てきた。その後も努力しているが、医師不足は厳しく、いまだ再開するに至っていない。

② 加茂市民が搬送される周産期母子医療センターは、新潟市民病院となる。

③ 現在、加茂市では妊産婦医療費の助成や医療機関での妊婦検診二回分の助成、B型肝炎検査の助成などを行っている。

④ 請負業者の話では、資金のめどがいたら再開し、完了させるまで一生懸命やるということである。それを信じて、一刻も早い工事の完了を願っている。

⑤ 日ごろから、土曜、日曜、祝日もかわりなく職員が勤務しているため、大みそかと元旦は休息させ、正月二日からサードピスの向上に努めさせたい。

答弁 ① 全市民の九三%の署名を持って泉田知事に要望をし

た。

決算等にみる加茂市政の諸問題について

無所属 田沢弘一 議員

質問 ① 個人市民税等の滞納繰越分については、前年度より若干収納率が向上したが、予算計上の率とかけ離れている。予算のときの見積もりはどのような考えで計上したのか。

② 住宅の使用料について、約二七%もの未納がある現状について、どのように考えているか。

③ 年々介護の対象者が増えていく中で、休日サービスの拡大などの対応が必要と考えるがどうか。

④ よもやま話を今後開催される場合は、記録係を同席させ、公的な用務に限るべきと思うが市長の見解を伺う。

① 一言で言えば、予算時においては期待値を計上したということである。また、滞納の理由も種々さまざまで、その滞納額等も一様ではないのが実態である。したがって、収納等を予測することは、なかなか難しいことである。

の派遣体制をとり、休日派遣も五十人ほどの利用者がいる。また、派遣時間も朝七時程度から夕方八時程度の間は融通をきかせている。

④ よもやま話については、今のやり方を変えるつもりはない。よもやま話路線、真の民主的市政は、断固として守り抜く決意である。

救命救急センターの設置基準について

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 本年度の施政方針に加茂病院の移転改築と救命救急センターの加茂病院内開設を推進する。産科の再開等、加茂病院の充実を図ると掲げている。この点について現在どこまで進めているか。また、救命救急センターの設置基準はどのようになっているか。

② 県央二次医療圏に救命救急センターが開設されるのはいつごろになるのか。

① 救命救急センターを設置するには、四百床規模の基幹病院が必要であり、県央地域で四百床にできる可能性を持っているのは、加茂病院と吉田病院だけである。ちようど加茂病院は建てかえの時期にも来ているので、加茂病院の移転改築と

あわせて救命救急センターを設置していただきたいことを、本年度の施政方針の中で表明したところである。知事も県当局も既にこのことは承知している。救命救急センターの設置については、以前は病床数二十床以上であったが、平成十五年度からは十床以上でも可能となり、二次医療圏の数を減らすかわりに各二次医療圏に救命救急センターを置くこととされた。

② 県央に救命救急センターが開設される時期は、我々の努力いかんである。県央各地から三十分以内に搬送できるのは、国道四〇三号バイパス沿いの加茂市が提案している場所であるから、そこへ大急ぎでつくるよう全力を挙げるべきである。

新町街路拡幅整備事業について

公明党 佐野正三良 議員

質問 ① 本年八月二十二日に施行された改正中心市街地活性化法で、現在進行中の五番町の商店街近代化事業と街路拡幅事業への事業内容の変更と影響額について尋ねる。

① 五番町地区から新町地区にかかる時期は何年後とみるか。

質問 ① 商店街の街路拡幅とアーケード整備事業は、特にアーケードについて制度がなんべんかわる中で、それにうまく乗りながら今日に至った。

改正中心市街地活性化法における中心市街地活性化支援事業というものは、現在加茂市がやっている程度の事業は対象にならない。残りの五番町と新町のアーケード整備は、少子高齢化等対応中小商業活性化支援事業として、防犯カメラを取りつけながらやっていくこととせざるを得ない。

安全対策について

市民クラブ 中野元栄 議員

質問 ① 高柳地内の二百九十号と県道の交差点の信号機の設置は、どうなっているのか尋ねる。

② 黒水中区の加茂川堤防に安全対策として、防護さくを設置をお願いしたい。

③ 光ファイバー通信の今後の予定について聞く。

④ 西山地区に携帯電話が通じるようにしていただきたい。

⑤ 新たな経営安定対策の中で農地・水・環境保全向上対策について、県はどのような方針なのか聞く。

⑥ 森林整備地域支援交付金制度は、十八年度までの五年間の事業と聞いている。制度の継続の要望があるが、考えを聞く。

① 現在設計に入っていない。五番町が終わるのあと三年くらいかかると思われるので、新町へ入るのは平成二十二年ごろになるものと思われる。

② 今年一学期末でのいじめの発生件数報告では、小学校で一校三件、中学校は件数ゼロであった。教育委員会では、急きよいじめ防止に役立てる生徒指導講座を実施している。加茂市の教職員は、本当に一生懸命になっている。いじめ問題の解決にがんばっている。

② 加茂川堤防は、県の管理であるので、今後県に防護さくの設置を強く要望していく。

③ 早期に、加茂市内全域でサービスが利用できるように、要望する予定である。

④ 市内の携帯電話不感地区がすべて解消され、携帯電話が利用できるよう、NTTドコモへ今後も要望していく。

⑤ 県は、新年度予算枠が決定されない限り取り組み方針は示せないとしている。情報が入ったら早急に情報提供できるように対応したいと考えている。

⑥ 県が国に確認したところ、活動内容、交付単価等の見直しを行い、継続して実施するとの回答である。

加茂市の木エブランド確立について

市民クラブ 安中 弘 議員

質問 ① 加茂木工ブランド確立事業について、今後の新たな取り組みと成果に期待して、市長の考えを問う。

② たんす協同組合と一緒に、国内での販売とジャポニスムとしての海外進出を果たしていきたいとも述べているが、現況はどのようなところまで進んでいるのか伺う。

③ ジャパンブランド事業では、ケルン国際家具見本市への出展が計画されていると聞いている。この際、市からも職員を派遣してはどうか。

答弁 ① ジャパンブランド育成支援事業は、そもそも商工会議所が中心となつて行う事業であり、しかも、たんすそのものの販路拡大ではなくて、たんすとは別の桐製品のデザインとその見本市等への出展を行う事業であつて、加茂市が大金を出しておつき合ひするような事業でないことがわかつたので、加茂市もたんす協同組合も手を引いたわけである。

② 日本歴史上初のたんすの海外進出を果たすべく努力すべきであると考える。ジェットロと相談しながら事を進めることにな

二〇〇七年産米の生産数量について

清流クラブ 山田義栄 議員

質問 ① 十一月に、二〇〇七年産の全国ベースの適正生産量を八百二十八万トと決定した。

② 二〇〇六年産の品質が、とりわけ加茂市も悪く、一等米比率も三三・六％と低く、さらに転作比率が上がつてくるのではないかと心配している。地域によっては不公平感があるかと思

③ 農地・水・環境保全向上対策の取り組みについて、加茂市として要望があるのか。あるとしたら面積はどうか。予算措置は考えているのか。

答弁 ① 加茂市の生産目標数量

の努力をする責任があると思つていない。③ 加茂市が加わる性格の事業ではないので、市の職員を派遣することはしない。

量の配分であるが、国及び県が過剰作付市町村に対し、一定量を反映した配分を行った場合でも、加茂市農業を守るため、生産調整未達成農家に対する一定量を反映した生産目標数量配分をすることは考えていない。昨年と同様に一律に生産目標数量の配分で行いたい。

② 直近五カ年の上位三カ年の平均値で算出することから、十八年産米の品質が悪かつたことで、十九年産の生産目標数量には影響は出ないと考えられる。

③ 要望のある四地区合計で、五百二十七・七畝である。支援単価、支援基準のハードルを高く設定してくる可能性等も考えられるので、国と県の動きを静観し、対応したい。

財政状況について

市民クラブ 樋口浩二 議員

質問 ① 公債費比率、起債制限比率の今後の見通しはどうか。

② 平成二十年度に特別養護老人ホーム第三平成園を建設する予定を立てることができるか。

答弁 ① 公債費比率は、平成十八年度決算見込み一七・九％、平成十九年度一六・七％、平成二十年度一五・三％、起債制限比率は、平成十八年度決算見込み一二・六％、平成十九年度一二・一％、平成二十年度一一・五％となつており、起債償還額が減少するため、下がる見込みである。公共事業の契約率は、今年十二月一日現在で七二・六％となつている。

② 土地は取得してあるので、次の期の四年間に、建設に着手

質問 ① 平成十九年度において地方交付税は今年度より増額されると思うか。

② 地方交付税の制度の見直しは議論されているが、法定率など、基本的な制度は変わらないと見ているか。

③ 加茂市の福祉・保健等行政サービスを維持し続けられると考えているか。

④ 信濃川新橋加茂大橋の建設や五番町街路事業、根古屋中央線事業などの進捗と取り組みについて影響はないか。

⑤ 四期目の出馬を表明されているが、四期目に取り組む政策あるいは課題について聞く。

答弁 ① 少なくとも、今年度より減ることは、ないのではないかと気がはする。

平成十九年度以降の財政等の見直しについて

市政クラブ 高橋禧雄 議員

③ 加茂病院の移転改築とあわせて救命救急センターを設置していただきたいことを、本年の施政方針の中で表明したところである。

④ 国道四〇三号バイパスの長岡栃尾巻線から下条矢立境線までの区間七百四十メートルの供用開始は、平成二十一年度から二十二年度になるとのことである。したがって、下条川にかかる橋の建設は、この区間の供用開始以降になるとのことである。

② 地方交付税の制度は変わらないと思つている。法定率については、骨太の方針でも現行法定率は堅持すると言つているので、変わらないと思つている。

③ 来年度以降も、今までに到達している加茂市の高い市政の水準は落とすことはない。

④ 加茂大橋の建設は、県が継続費を設定し、順調に進めてい

⑤ 来期においても、慌てず、騒がず、悠々として、市民に対する愛情を根本として、高い理想を掲げながら、英知の限りを尽くして、賢明に、冷静に、的確に対応していきたい。

難病医療費適用範囲見直しを採択

十二月定例会で受理した請願は一件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

せどがん

1件

▽採択したもの

- ☆意見書提出を求める請願
- ・難病医療費適用範囲見直しについての請願（新潟県患者・家族団体協議会代表幹事）

特定疾患治療研究の対象範囲見直しの意見書を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書一件を可決し、関係機関へ提出しました。

◎特定疾患治療研究事業の対象範囲見直しに関する意見書

国の難病対策として実施されている特定疾患治療研究事業は、病態の把握や治療研究に大きな役割を果たすとともに、患者の医療費の負担軽減を図ってきており、難病患者や家族の大きな支えとなっている。

しかしながら、厚生労働省の特定疾患対策懇談会は、パーキンソン病と潰瘍性大腸炎について、患者数が五万人を超え、希少性の要件を満たさなくなっていることを理由に、症状の軽い

事業の範囲の見直しを行わず、現行制度を堅持するよう強く要望する。

医療問題特別委員会

去る、十一月二十四日に特別委員会を開催しました。

最初に健康課長より、魚沼基幹病院の状況、後期高齢者医療制度、医療制度改革について、それぞれ説明があり、その後、質疑を行いました。

連合審査会

十二月十二日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案十七件について、総括質疑を行いました。

平成 18 年の 議 会

議会開催状況 [委員会は視察等を含む]

会 議 名		日 数
全 員	本 会 議	2 1
	連 合 審 査 会	5
	全 員 協 議 会	2 0
常 任 委	総 務 文 教 常 任 委 員 会	1 1
	産 業 建 設 常 任 委 員 会	8
	社 会 厚 生 常 任 委 員 会	1 0
常 設	議 会 運 営 委 員 会	1 7
特 別 委	決 算 審 査 特 別 委 員 会	4
	医 療 問 題 特 別 委 員 会	3
そ の 他	議 会 だ よ り 編 集 委 員 会	4
	各 派 交 渉 会 ほか	4
合 計		1 0 7

案件と議決状況

案 件	件 数	議決状況	件 数
市 長 提 出	条 例	原 案 可 決	6 8
	予 算	認 定	8
	決 算	同 意	9
	人 事	承 認	1 4
	専 決	(撤 回)	1
	計	計	1 0 0
議 員 提 出	条 例	原 案 可 決	1 1
	意 見 書	否 決	1
請 願	1 0	採 択	9
		趣 旨 採 択	1
合 計	1 2 2	合 計	1 2 2

ほかに陳情 4 件を配付して報告
他市町議会議員等の視察来市 1 2 件 5 5 人

3 月 定 例 会

傍聴してみませんか

加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。

市議会は、誰でも傍聴できます。

皆さんが選んだ議員が皆さんの声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっとも身近な審議機関です。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般に

ついて一般質問も行われます。このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。

次の定例会は、三月ですが、傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただくだけで入場できますので、お気軽に傍聴にお出かけください。

傍聴席は、一般席40、車いす席4、記者席8の合計52席となっています。

12月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
議案番号	件名	議決状況
12	特定疾患治療研究事業の対象範囲見直しに関する意見書	原案可決
市長提出議案		
81	18年度一般会計補正予算(第9号)	原案可決
82	18年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	〃
83	18年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃
84	18年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃
85	18年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	〃
86	18年度水道事業会計補正予算(第2号)	〃
87	17年度一般会計決算の認定	認定
88	17年度国民健康保険特別会計決算の認定	〃
89	17年度老人保健特別会計決算の認定	〃
90	17年度宅地造成事業特別会計決算の認定	〃
91	17年度下水道事業特別会計決算の認定	〃
92	17年度介護保険特別会計決算の認定	〃
93	17年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定	〃
94	ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正	原案可決
95	重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正	〃
96	消防団の設置等に関する条例の一部改正	〃
97	新潟県後期高齢者医療広域連合の設置	(撤回)
98	公平委員会委員の選任(田邊 敏夫氏)	同意
99	監査委員の選任(坂中 春信氏)	〃
100	固定資産評価審査委員会委員の選任(渡邊 晃氏)	〃

1月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
1	18年度一般会計補正予算(第10号)	原案可決
2	18年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃
3	18年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	〃
4	上水道新設工事分担金徴収条例の一部改正	〃

全員協議会

十一月二十四日に月例全員協議会が開催され、社会厚生常任委員会行政視察報告や事務に関する説明書の質疑を行いました。十二月二十二日に全員協議会が開催され、国道四〇三号バイパス横断地下道について、市長より説明がありました。また、一月二十二日に月例全員協議会が開催され、議会運営

委員会及び医療問題特別委員会の行政視察報告や事務に関する説明書の質疑を行いました。

議会日誌

〈11月〉

1日 広域行政圏市議会協議会

理事会(東京)

6〜8日 議会運営委員会行政

視察(かほく市・越前市)

〔視察事項〕

・議会運営全般

14〜15日 医療問題特別委員会

行政視察(奈井江町)

〔視察事項〕

24日 ・町立国民健康保険病院

医療問題特別委員会

30日 議会運営委員会

〈12月〉

5日 議会運営委員会

7〜22日 定例市議会

22日 全員協議会

〈1月〉

18日 議会運営委員会

臨時市議会

月例全員協議会

議会運営委員会

議会だより編集委員会

議会だより編集委員

任期満了により、各常任委員会から次の者が、議会だより編集委員に選出されました。

- | | | | | | | | |
|-----|------|------|------|-----|-----|------|------|
| 委員長 | 副委員長 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 関龍雄 | 安武秀敏 | 森山一理 | 田沢弘一 | 高井保 | 安中弘 | 大関勝正 | 今井詔一 |



次の定例会は、3月8日(木)から開催の予定です。